

入院診療計画書（胸腔鏡下肺切除術を受けられる患者様へ）

No. 1
クリニカルパス番号:患者氏名 _____ 様 (ID: _____)
病名 _____

月日				
経過	入院当日～	手術前日	手術当日（術前）	（術後）集中治療室入室
説明	<ul style="list-style-type: none"> 手術について医師が説明します 看護師から入院時のオリエンテーションがあります 看護師が手術についてパンフレットを用い説明します 	<ul style="list-style-type: none"> 署名と捺印後、同意書を看護師に提出して下さい 麻酔科の医師が伺います 集中治療室の看護師が伺います 	<ul style="list-style-type: none"> 手術開始時間は手術説明書のとおりです（時間に変更になることもあります） 御家族の方は手術開始予定の1時間ぐらい前には病室にお越し下さい（9時開始の時は8時30分頃にお越しください） 	<ul style="list-style-type: none"> 集中治療室に入室します 集中治療室で主治医より家族に手術後の説明があります（本人へは麻酔が完全に覚めてから行います） 経過によっては術当日に病棟に帰室することもあります
処置			<ul style="list-style-type: none"> 指示により弾性ストッキングの着用します 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後～次の日までは酸素マスクをしています 尿の管がつながっています 胸に管（ドレーン）が入っています 痰きりの吸入を行うことがあります 背中に痛み止めの管が入っていることがあります 気分が悪くなったり痛みが強いとき、夜間眠れないときは看護師にお知らせ下さい 看護師が頻回にベットを訪ねます 手術後の持続点滴は24時間の予定です
内服	<ul style="list-style-type: none"> 内服中の薬があれば知らせて下さい 抗凝固剤の中止の確認をします 		指示された薬のみ少量の水でお飲み下さい	
点滴				
検査	レントゲンや採血の検査を適宜行います。			<ul style="list-style-type: none"> 手術後に手術室でレントゲンがあります 集中治療室で採血があります
食事	<input type="checkbox"/> 普通食 <input type="checkbox"/> 治療食 （持病のある方は治療食になります）	<ul style="list-style-type: none"> 21時より絶食となります 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に手術3時間前までは水・お茶・OS1は飲水可能です。OS1は自動販売機で購入可能です。点滴の代わりとなりますので、ペットボトル1本程度の十分な飲水をしてください 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後は口が渇いても水は飲みませんので、うがいなどで口腔内を湿らす程度になります
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 基本的に外出する場合は医師の許可が必要です 外出・外泊の希望がある場合は看護師にお知らせください 		<ul style="list-style-type: none"> 手術室へは歩いて、もしくは車椅子で移動します 	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静です（手術後より足を曲げたり横を向いてもかまいません） 足首の運動を行ってください
清潔		<ul style="list-style-type: none"> 入浴しシャンプーをして下さい 入浴できないときは体拭きとシャンプーをします 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、歯磨き・うがいをして下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 蒸しタオルで顔を拭きます（夕） 翌朝、看護師が体を拭きます
その他	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙して下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 手術に必要な物品の確認をします <input type="checkbox"/>同意書類 <input type="checkbox"/>パンツ <input type="checkbox"/>ティッシュ 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の方は手術室まで一緒に行きます 手術終了まで控え室でお待ち下さい 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活に慣れ、睡眠が十分にとれる 		→	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸・循環動態が安定している →

注1：病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくにしたがって変わる可能性もあります
 注2：入院期間については現時点で予想されるもので、今後の経過で変更となる可能性もあります

2019年4月改訂

主治医： _____ 印

担当看護師： _____



上記計画書について、十分説明を受けました。

患者署名 _____

患者氏名 _____ 様

月日 経過	術後1日目	術後2日目	術後3～7日目	術後8日目～	退院日
説明	・問題がなければ昼頃に集中治療室より病棟に戻ります			・手術の病理結果と退院後の生活について医師と看護師から説明があります	・次回外来日を連絡します
処置	・朝、医師が手術創部のチェックを行います ・尿の管が抜けます（場合により翌日まで） ・指示により痰きりの吸入をする場合があります ・酸素の値がよければ酸素投与を終了します	・手術創部のチェックを行います ・胸の管(ドレーン)を抜きます（場合により延期することもあります）		ほとんどの手術で創部の抜糸は不要です。	・ドレーン部の抜糸は退院後に外来で行います
内服	・痛み止めの内服をします 定期的内服する薬で痛みが抑えられない時は看護師に申し出てください			・途中で痛み止めを減量していきます。	・退院時に痛み止めなど退院後に必要な薬が処方されます
点滴	・夕方まで持続点滴を行います ・食事がとれていれば点滴は終了です。	(状態により点滴を延長します)			
検査	・朝、採血とレントゲンがあります	・適宜採血やレントゲンを行います			
食事	・朝、医師診察後、飲水食事が許可されます ・昼、夕は全粥です	・普通食に戻ります			
活動	・ベッドで安静にしている時は足首の運動に行ってください ・集中治療室で安静の指示が解除されます 初めての歩行は看護師が付き添います	・尿の管が抜けたらドレーンバックを病棟内を歩けます	・胸の管が入っていても、できるだけ歩くようにしましょう ・レントゲンなどには歩いて行きます		
清潔	・歩行できるようになるまで朝と夕方に蒸しタオルとうがいの水を持って行きます	・看護師が体を拭きます ・ウォシュレットを使って清潔にしましょう	胸の管が抜けた翌日より状態が良ければシャワーが許可されます		・入浴は抜糸翌日から可能となります
その他					
目標	・痛みのコントロールを図りながらトイレ歩行ができる	・痛みのコントロールが図れ、日常生活ができるようになる ・悪寒を伴う発熱など感染の徴候がない		・退院後の生活について理解できる	

主治医: _____ 印

担当看護師: _____

上記計画書について、十分説明を受けました。

患者署名 _____

